

土着天敵で夏秋キュウリのアブラムシ類の抑制する

福島県農業総合センター 生産環境部
平成18年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

野菜 - キュウリ - 病害虫防除
分類コード 03-01-23000000

2 担当者

中村 淳・荒川昭弘

3 要旨

夏秋期の露地キュウリ栽培において、アブラムシ類およびその土着天敵の発生を調査し、土着天敵によるアブラムシ類の抑制効果を検討した。

- (1) 所内では、定植後アブラムシ類(ワタアブラムシ主体)が徐々に増加し7月上旬に発生ピークとなった。その後は、土着天敵の発生により減少した。
- (2) 二本松市現地ほ場では、土着天敵の発生が早くから見られ、アブラムシ類(ワタアブラムシ主体)は比較的低密度で推移し、急激な密度上昇は見られなかった。
- (3) 発生が見られた土着天敵は、ヒメハナカメムシ類、クサカゲロウ類、寄生蜂類、テントウムシ類、シヨクガタマバエ、ヒラタアブ類などであった。
- (4) 現地ほ場では、ヒメハナカメムシ類、クサカゲロウ類、テントウムシ類が、アブラムシ類の寄生密度が低い時期から発生しており、これらをほ場やほ場周辺に定着させることがアブラムシ類の密度抑制に重要であると考えられた。

4 その他の資料等

なし